

平成27年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名	新人看護職員研修推進費			担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始年度	平成22年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	看護課		課長：岩澤 和子			
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」					
主要政策・施策	男女共同参画			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新人助産師及び新人看護師に対し、必要な姿勢及び態度並びに知識、技術について十分な指導体制及び研修プログラムに基づく研修を行い、また、新人助産師の実地指導者及び新人看護師の教育担当者に対し、卒後教育の考え方、方法論、教育研修指導としての実践等を系統的に研修させ、保健師、助産師及び看護師の資質向上及び医療安全の確保を図ることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	新人看護職員研修に関するガイドラインの普及を図り、病院等において新人看護職員卒後研修の着実な実施を促進する。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	10	6	5	6	6			
		補正予算	—	—	—	—				
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—			
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—				
		予備費等	—	—	—	—				
	計		10	6	5	6	6			
	執行額		4	5	4					
執行率(%)		40%	83%	80%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	平成27年度に病院等に就業した新人看護職員における新人看護職員研修受講者の割合を100%とする ※平成26年度は集計中		病院等に就業した新人看護職員における新人看護職員研修受講者の割合		成果実績	%	75	73.7	—	
					目標値	%	100	100	100	100
					達成度	%	75%	73.7%	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	新人看護職員研修実施施設数 ※平成26年度は集計中		活動実績	か所	2,437	2,414	—			
			当初見込み	か所	2,468	2,468	2,559	2,600		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	新人看護職員研修受講者数 ※平成26年度は集計中、平成27年度活動見込は同数		活動実績	人	39,635	39,856	—			
			当初見込み	人	38,643	39,635	39,856	—		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額／研修受講者数 ※平成26年度研修受講者数は集計中 平成27年度の見込も同数		単位当たり コスト	円	110	134	—	—		
			計算式	x/y	4,357,000円/39,635人	5,342,894円/39,856人	—	—		
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		1	1						
	職員旅費		0	0						
	委員等旅費		1	1						
	庁費		4	4						
	計		6	6						

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価		評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○		看護師の資質向上及び医療安全の確保のために事業は国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		看護師の質の向上のための施策の実施に当たっては「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととされており、国が実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○		看護師の質の向上のための施策の実施は、医療安全の確保のためにも優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○		必要最低限の経費しか計上していないため、単位当たりコストの水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		新人看護職員研修推進に必要な費目・使途に限られてる。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		○		当初見込みより、経費を縮減させたため。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○		事業の実施に必要な最低限の経費のみを計上しているため、コストの削減に努めている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△		成果実績は、横ばいとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○		新人看護職員研修の推進に必要な費目・使途に限っており、低コストで実施できている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-		-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度の成果実績については集計中であるものの、ここ近年、新人看護職員研修の受講率は横ばいとなっており、新人看護職員研修の実施の推進に一定の効果が上がっている。				
	改善の方向性	新人看護職員研修実施施設数や受講者数は高い水準となっているが、100%の実施を目標としているため、未だ実施率の低い300床未満の施設へのより一層の事業の推進を図ってまいりたい。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	新人看護職員研修受講者数は増加しており、一定の成果が出ているが、平成27年度における病院等に就業した新人看護職員における新人看護職員研修受講者の割合が100%になるよう、引き続き、実施率の低い300床未満への働き掛けを行うとともに、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	97	平成23年度	80	平成24年度	59	
平成25年度	48	平成26年度	53			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
4百万円

〔新人看護職員研修の着実な実施の促進に係る経費〕



A. 事務費
4百万円

〔新人看護職員研修ガイドラインの見直しの検討に係る経費〕

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

A.期間業務職員			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金等	期間業務職員の賃金等	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	期間業務職員	期間業務職員の賃金等	4	—	—
2	職員	新人看護職員研修ガイドラインの見直しの検討に係る調査出張	0	—	—
3	委員	検討会出席旅費	0	—	—